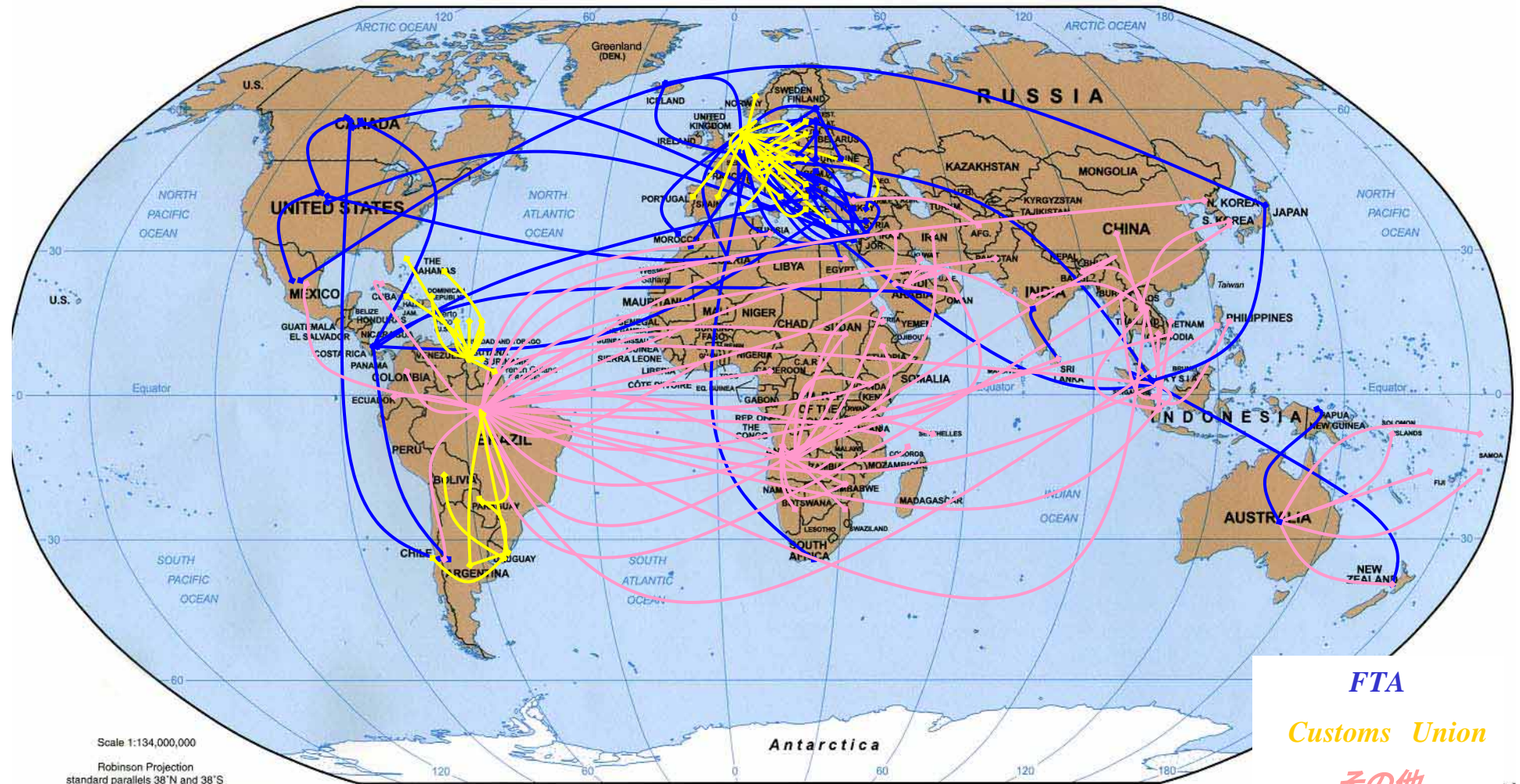


自由貿易協定(FTA)の進展

オープンキャンパス模擬講義

古沢 泰治



FTA
 Customs Union
 その他

特惠関税協定

- 関税同盟 (EU等)
 - 加盟国間の関税をほとんど全ての品目に関して撤廃
 - 共通の域外関税率
- 自由貿易協定 (NAFTA等)
 - 加盟国間の関税をほとんど全ての品目に関して撤廃
 - 域外関税率の調整なし

どうしてそんなに流行るのか？

- 第2次世界大戦後、GATT体制の下での関税引き下げ
- 1995年にGATTは発展的にWTOに移行
- 多国間協議が困難に
 - 発展途上国の発言権向上
 - NGOの存在(アンチグローバリズム)
- 交渉が容易な特惠関税協定へ

「法的」位置づけ

- GATT/WTO体制の2大原則
 - 相互性
 - 無差別の原則
- 特恵関税協定はGATT 24条で認められた例外措置

良い点、悪い点

- **良い点**
 - 差別的とはいえ、域内の貿易自由化には違くない
 - 多国間貿易自由化につながる可能性
- **悪い点**
 - 域外国の社会厚生を減少させる
 - 第2次世界大戦前のような経済ブロック化につながる可能性

3つの疑問

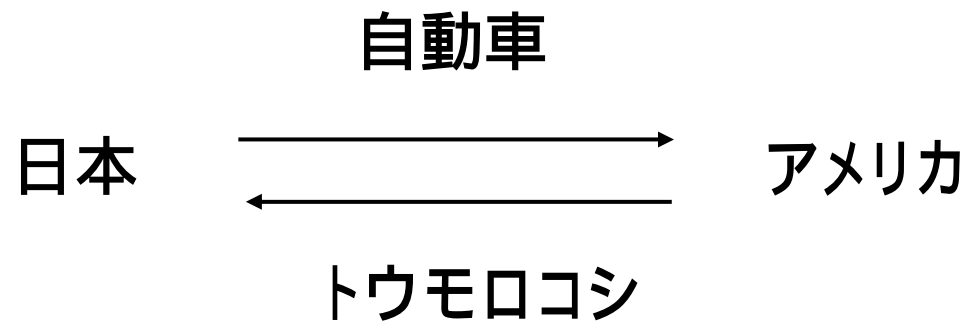
1. そもそもなぜ国々は財の輸入に対して関税を課すのか？
2. なぜ貿易自由化をしようとするのか？
3. 特惠関税協定のような一部の国家間での貿易自由化は域外国にどのような影響を与えるか？

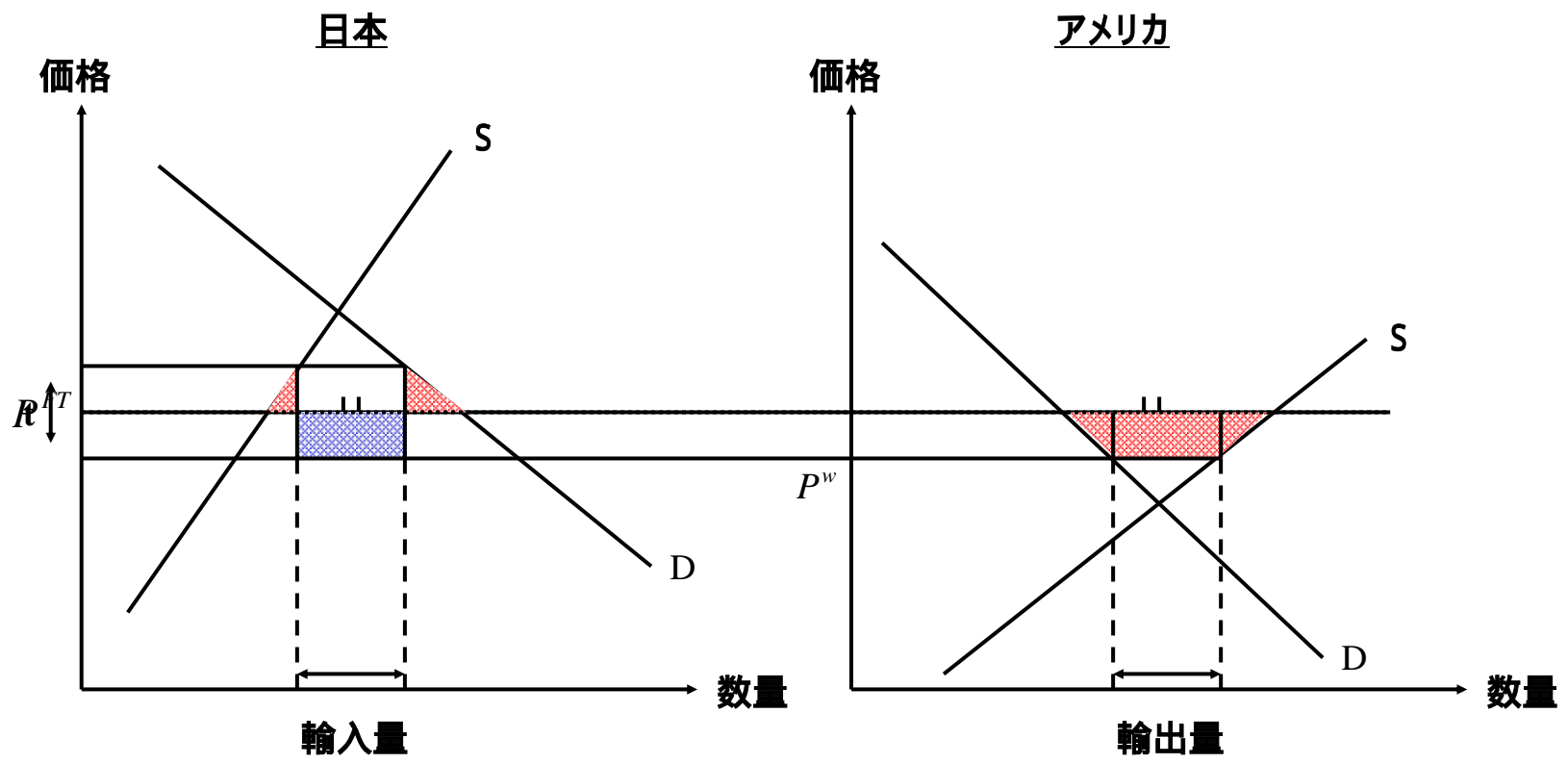
1. どうして関税を課すのか？

- 政治的理由 (国内産業の保護)
- 経済的理由 (最適関税の理論)
 - 輸入関税
 - 輸入財の国内価格 ↑
 - 国内需要 ↓
 - 世界需要 ↓
 - 輸入財の世界価格 ↓
 - 社会厚生 ↑

1. どうして関税を課すのか？

- 例： トウモロコシへの日本の輸入関税





1. どうして関税を課すのか？

- 関税の影響

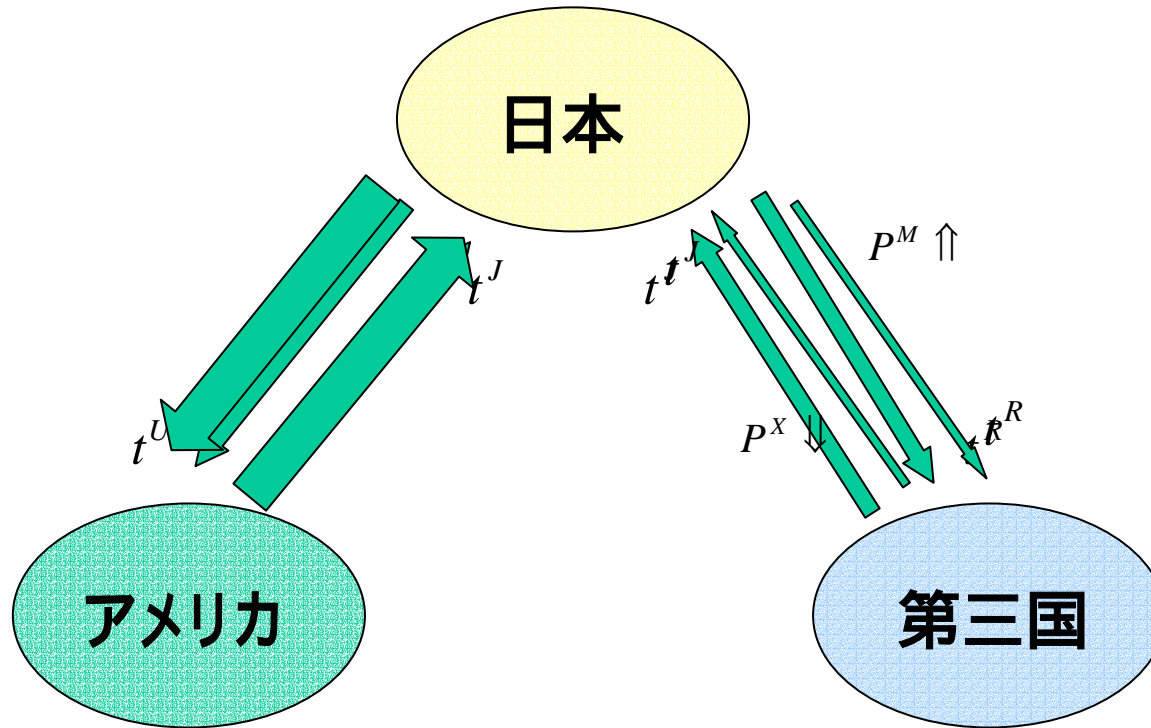
- トウモロコシの世界価格が下落
 - 日本にとっては Good News
 - アメリカにとっては Bad News
- 経済にひずみが生じた
 - 日本にとって Bad News
- 関税率がそれほど高くなければ
 - 日本の社会厚生 ↑ アメリカの社会厚生 ↓
 - 両国の社会厚生之和 ↓

2. なぜ貿易自由化か？

- 日本が一方的に関税を引き下げるインセンティブはない
- しかし、アメリカも自動車関税を下げてくれるなら、自分もトウモロコシ関税を下げてもいい
- 相互的関税引き下げは、ひずみによる損失を解消

3 . 域外国への影響

- 通商上、「差別的」扱いを受け、社会厚生が減少



結論

- 特恵関税協定は、加盟国間の社会厚生はあげるが、域外国の社会厚生を下げる
- 多国間の関税協定が難しいときのセカンドベストな政策